

市議会が震度7の地震発生を想定した災害図上訓練 無線と防災マップを使った情報収集・伝達訓練を実施

沼田市議会は5日、県北部を震源とする震度7の地震が発生し、強い揺れを観測した大規模災害を想定とした、災害図上訓練をはじめ市役所でおこないました。

訓練では、午前9時に市役所から市議会議員全員に安否確認と市役所に集まることを呼びかけるメールが送られ、午前10時から防災対策課の職員の指導により訓練がはじまりました。

訓練では、無線と防災マップを使い、家屋の倒壊や被災者の状況など被害状況などを伝え、本部にいる議員が地図に情報を書き込む訓練をおこないました。



有害鳥獣対策と定住促進対策を経済建設常任委員会が視察

市議会経済建設常任委員会は4日、群馬県鳥獣被害対策支援センターの有害鳥獣対策と上野村の定住促進対策について視察をおこないました。

群馬県鳥獣被害対策支援センターでは、県内の有害鳥獣による被害状況や地域での情報の共有化による捕獲、被害対策について職員から説明を受けました。



上野村では、人口減少がすすむなか1ターナーを受け入れるため、働く場所の確保や村営住宅の整備、保育料や給食費などの無料化など子育て支援の充実が取り組まれていました。

温泉街にやさしい灯り 老神温泉雪ほたる

老神温泉では土曜日と祝前日に雪と氷で彩る、「雪ほたる」がおこなわれています。(日没から午後9時まで)

利根観光会館を中心に約300個の雪や氷の灯籠が設置され、やさしい灯りで温泉街をつつんでいます。

「雪ほたる」は、23日までおこなわれます。



福は内〜にぎやかに豆まき

今年の節分は日曜日だったこともあり、長寿院(材木町)、金剛院(坊新田町)、老神温泉赤城神社でおこなわれた豆まきには、多くの人でにぎわいました。



老神温泉赤城神社の豆まきには、浴衣姿の宿泊者も参加していました。

ぐんまちゃんも豆まきに参加し、多くの子どもたちと写真を撮っていました。

2019年2月10日

NO. 596

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料

こんにちは 大東のぶゆき です



あり方などを含め、掘り下げた検証と原因究明が必要です。児童福祉士1人が受け持つ相談は40件程度とされていますが、外国より過重負担といわれ、子どもが守られる体制作りを急ぐ必要があります。

こんにちは。千葉県野田市で小学4年生の女兒が、父親から虐待を受け、命が失われる悲劇がまたも起きてしまいました。女兒が父親からの暴力を訴えるSOSを発信していただけない、なぜ命を救えなかったのか悔やんでも悔やみきれません。死亡した女兒が「昨年学校のアンケートに「お父さんにほづ力を受けています」「先生、どうにかできませんか」と記し、学校は女兒のあざを確認し、児童相談所は女兒を一時保護しますが、教育委員会が父親にアンケートの「コピーを渡すなど、父親からの猛反発を受けたことから関係行政機関の姿勢が後退してしまいました。」

転校した女兒が学校を休むなど危険な兆しがあったのに、関係機関の情報共有や連携の

続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その七

義民山口六郎衛門の墓

沼田城主だった真田伊賀守信利の重税に苦しめられていた農民を救うため、月夜野の杉木茂左衛門が直訴し、天和元年(1681)真田氏が改易されましたが、税は軽くなりませんでした。



耐えかねた老神の名主だった山口六郎衛門は、大原の青木半左衛門と利根郡・吾妻郡の農民の連名で天和3年(1683)に再検地と減税の訴えをおこない、幕府は再検地(貞享の検地)の結果、減税を実施しましたが、山口六郎衛門は強訴の罪で死罪となり、地元の人たちが首と遺品を受け取り現地(老神)に埋葬しました。

足止め弁天

多那の柄又にある足止め弁天は、樗木家に代々伝えられている丸彫りの弁天様(立像)です。



この弁天様は、家出人や家畜がいなくなった時、下駄や靴などをおそなえいしお願いするとそのものの足を止め、すぐ見つけ出すことができるといわれていました。

そのため人々からは、「足止め弁天」とよばれるようになりました。